

日本人駐在員に対する襲撃事件が発生したところ、概要を以下の通り報告いたします。なお、本事件における被害は、多少の切り傷を除き大きな怪我等はありませんでしたが、車の助手席の窓ガラスが割れ、車内にガラス片やレンガ片が散乱するという被害となりました。

1 発生日時： 13日午前2時頃

2 発生場所： クリチバ市郊外（ファゼンダ・リオ・グランデ市との境界近く）ニコラペランダ通り（Rua Nicola Pellanda）とミゲル・アンジェロ・ペランダ通り（Rua Miguel Angelo Pelanda）の交差点近辺

3 事件概要

（1）事件発生時刻に、同社駐在員4名（1名が車を運転）がファゼンダ・リオ・グランデにある同社工場より車でクリチバ市内へ帰宅していたところ、事件発生現場に近づいた時、右側歩道を歩行している不審な人物がいるのを運転者が気づいた。

（2）同運転手は、不審者を避けるため、左側の反対車線（対面通行の1車線道路）に入り、速度を上げて回避しようと試みたが、不審者は走っている車へ近づき、レンガを投げつけた。レンガは車助手席（右側）の窓ガラスに命中し、破損した。割れた窓ガラスとレンガの破片が車内に散乱したものの、その場を離れる事を第一優先とし、車速を維持したままその場を走り去り、一度も停止する事無く帰宅した。

（3）割れた窓ガラスの破片等で、助手席にいた駐在員に若干の擦り傷、切り傷があった他、運転手にもレンガの破片等が当たったと見られるが、乗員全員に目立った外傷等は無かった。

〈当館からのお願い〉

・今回の事件は走行中の車に対して投石し運転手が動揺して停車したところを狙う強盗未遂事件であったと推測されます。このような犯罪に巻き込まれた際は、上記のようにまず現場から離脱することが重要です。離脱する際は運転に十分注し、安全を確保してから車輛の破損確認、受傷状況及び警察通報などを行うようにしてください。

・類似の事件は深交通量が少ない時間帯に発生する傾向があるため、深夜に車を運転する場合は、不審者にも気をつけて運転するようお願いいたします。